

TAC公務員講座

無料ガイダンス ゼロから教えて！公務員！

～ガイダンスをご視聴になる方へ～

ガイダンスは、「当レジュメ」と「公務員講座パンフレット(地方上級・国家一般職)」を参照しながらお話を進めて参ります。
「公務員講座パンフレット(地方上級・国家一般職)」をお持ちでない方は、TACホームページよりご請求いただけます。

Contents >> ■ 1. 公務員の職種と仕事内容 ■ 2. 公務員の試験制度 ■ 3. TACの合格カリキュラム

1. 公務員の職種と仕事内容

公務員の種類 「国家公務員」と「地方公務員」

公務員は「国家公務員」と「地方公務員」の2つに大別されます。

国家公務員 国から給与が支給され、司法府・立法府・行政府の各国家機関で活躍する公務員
国の舵取り役として日本全体を視野に捉えた施策を打ち出す。

- 一般職：省庁及びその付属機関で事務や技術の仕事に従事する
- 特別職：裁判所職員・国会職員・防衛省職員・特定独立行政法人の役員等

地方公務員 地方自治体(都道府県庁・市役所等)から給与が支給され、地方自治体の機関で働く公務員
地方の実情に即した行政サービスを実施。

- 事務職：地方自治体で一般的な事務の仕事に従事
- 専門職：教育職・技術職・資格職
- 公安職：警察官・消防官...etc

公務員の仕事は「人と社会のために。幸せな生活の舞台をつくりだす、支える仕事」です。

公務員の仕事は本当に多種多彩。きっとあなたにとって魅力的な仕事が見つかりますよ。

国家公務員

司法院・立法府・行政院の各国家機関で活躍する公務員

㊟ 裁判所職員

【試験名】裁判所職員一般職(大卒)

- 【仕事と使命】 裁判所のスムーズな運用を図るための一般事務や裁判手続きの補助作業を担当。
裁判の円滑な進行のためのコートマネージャー。
- 【勤務先】 各裁判所(受験した高等裁判所管轄内)の裁判部門・司法行政部門へ配属。
採用当初は、原則として裁判部門へ配属され、裁判に関する補助事務に携わることが多い。

内部試験により裁判所書記官への道が開かれている。
書記官になると、裁判の立会・調書作成・公判スケジュールの管理など、より深く裁判に関わる。
- 【TOPIC】 2012年より国家公務員新試験制度での実施となり、試験名称が変わります。
裁判所事務官Ⅱ種>>裁判所職員一般職(大卒)／裁判所事務官Ⅰ種>>裁判所職員総合職

㊟ 衆議院／参議院事務局

【試験名】衆議院事務局職員総合職・一般職／参議院事務局職員総合職

- 【仕事と使命】 会議運営部門・調査部門・総務部門に分かれて、各議会の運営のサポートを担当。
国会の円滑な運営を維持する。
- 【勤務先】 原則として国会や周辺施設での勤務＝転居を伴うような地方転勤がない。
一般の行政職に比べ、仕事にメリハリがある職場が多い。
目の前で国の方向を決める議論に立ち会うことができる。
- 【TOPIC】 2012年より国家公務員新試験制度での実施となり、試験名称が変わります。
参議院事務局Ⅰ種・Ⅱ種>>参議院事務局職員総合職

㊟ 国税専門官

【試験名】国税専門官

- 【仕事と使命】 国税局や税務署に勤務する税務のスペシャリスト。
国税専門官は、①国税調査官 ②国税徴収官 ③国税査察官の総称。
①国税調査官 >> 個人・会社を訪問し、適正な申告が行われているか調査・指導。
②国税徴収官 >> 税金を期日内に払わない人の説得。
③国税査察官 >> 悪質な脱税の疑いのある者に対し差押え・強制捜査・告発を行う。
- 【勤務先】 まずは税務大学校等で、税金に関する基礎的事項を習得する。
研修終了後、第1次試験地を所轄する国税局所管の税務署に配属。
- 【TOPIC】 勤続年数に応じて、税理士試験の科目合格や税理士資格が取得できる。
研修制度が充実しており、様々な研修で専門知識・技能を身につけていくことが可能。

⑧ 労働基準監督官

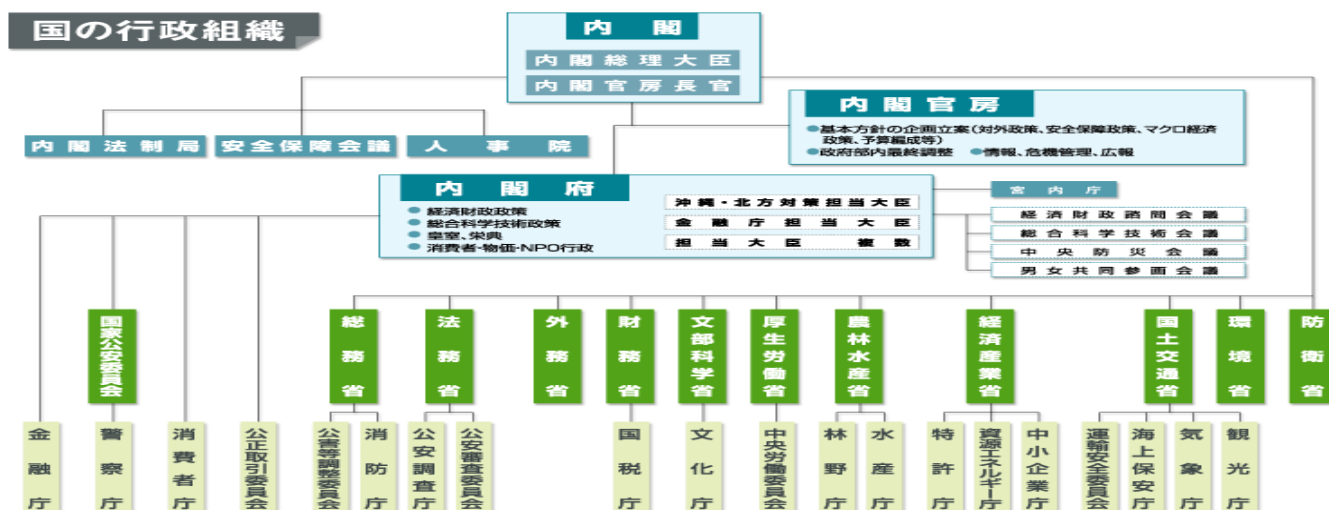
【試験名】労働基準監督官A

- 【仕事と使命】 労働関係法令に基づき、労働条件や安全・衛生の確保、改善のための様々な業務。
弱い立場の労働者に代わって、事業主に物申す。
- 【勤務先】 厚生労働省職員となり、全国の都道府県労働局・労働基準監督署に配属。
異動は2～3年毎に全国規模。
- 【TOPIC】 他の公務員に比べ庁外業務が多く様々な人生経験を経た人々と接する機会がある。
女性の受験者が多く、例年採用者の15～20%程度を女性が占める。

⑧ 1府12省職員

【試験名】国家公務員総合職／国家公務員一般職

- 【仕事と使命】 **本省庁採用(霞ヶ関勤務)** 企画・立案
 ・各省庁に採用され、特定分野について専門的業務を行う。
 ・仕事は決して楽ではないが、それに勝る魅力としてスケールが大きな仕事ができることが特徴であり魅力。
- 地方出先機関採用(地方勤務)** 実 行
 ・〇〇省関東××局といった出先機関に採用され管区内の本局や事務局で活躍。
 ・採用先や配属先によっては窓口業務もあり、勤務地域はある程度限定される。
- 【勤務先】 内定は、各省庁から得て、内定先の省庁の職員となる。
省庁を跨いだ異動はなく、一度入った省庁の中で一生働くことになる。
- 【TOPIC】 2012年より国家公務員新試験制度での実施となり、試験名称が変わります。
 国家Ⅰ種試験 >> 国家公務員総合職試験
 国家Ⅱ種試験 >> 国家公務員一般職試験（大卒程度）



地方公務員

都道府県・市役所・区役所などの地方自治体で働く公務員

都道府県

市町村の区域を越える広域的な業務（＊１）、都道府県全体で統一する必要がある業務（＊２）、市町村単位では処理が困難な業務、国と市町村間の調整等を行う。

- ＊１ 総合開発計画、治山・治水事業、産業立地条件の整備、道路・河川・公共施設の管理及び建設…etc
- ＊２ 義務教育の水準維持、社会福祉の水準維持、各種認可・免許・検査…etc

政令指定都市

指令指定都市とは、人口 50 万人以上の政令で指定された大規模都市。

地方都市業務に加え、都道府県から一部業務（福祉・衛生・都市計画等）を委託されており、都道府県と市町村（地方都市）の両方の機能をもつ自治体。

【政令指定都市】 札幌市・仙台市・さいたま市・千葉市・横浜市・川崎市・相模原市・新潟市・静岡市・浜松市・名古屋市・京都市・大阪市・堺市・神戸市・岡山市・広島市・北九州市・福岡市・熊本市

市区町村

地域住民の行政窓口として、公務員の中でもっとも地域に密着した存在で、住民の普段の生活に関わる仕事が多い。住民生活の基礎手続き（＊１）、住民の安全・健康確保・環境保全（＊２）、街づくり（＊３）、各種施設の運営管理（＊４）などを行う。

- ＊１ 戸籍住民登録、住居表示、諸証明の発行…etc
- ＊２ 消防、ゴミ処理、上下水道の整備、公園や緑地の整備…etc
- ＊３ 都市計画、道路・河川・その他の公共施設の建設及び管理…etc
- ＊４ 公民館・保育所・小中学校・図書館等の建設及び管理…etc

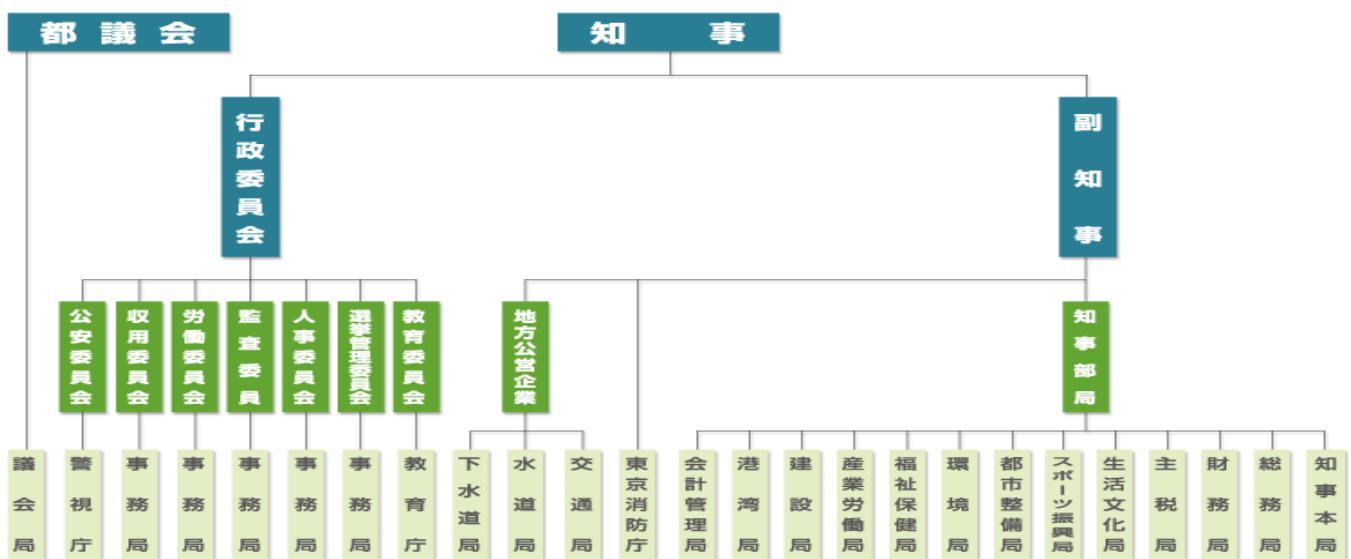
【試験の名称】 大卒程度試験は、〇〇県採用試験（大卒程度）や〇〇市上級といった名称が用いられる。
※中級＝短大卒試験／初級＝高卒程度試験

【仕事と使命】 住民が快適に暮らせる生活環境を作るための地域密着型の仕事を担当。
地域住民の声に耳を傾け、市民生活全般に関わる幅広い仕事に携わる。

【勤務先】 都道府県や市役所、地方自治体の関連施設に勤務。
原則として採用された自治体の機関に勤務する＝転居が伴うような異動はない。

【TOPIC】 住民の身近な存在として活躍できる＝自分の仕事の成果が感じやすい。
色々な分野の仕事を経験できる機会に恵まれている。
地方公務員試験だけでも 3～4 つ程度の併願受験が可能！
※併願受験例 5/6(日)：東京都Ⅰ類Ｂ・6/24(日)：さいたま市・7月：市役所・9月：市役所 など

地方自治体の組織（例：東京都）



志望先の選択

公務員の仕事の調べ方

- 【国家公務員】 国家公務員採用情報 NAVI (<http://www.jinji.go.jp/saiyo/>)・各省庁・機関のホームページの採用情報などで、ある程度の仕事内容の紹介は職員のインタビューなどが見られる。
また、随時採用説明会も実施しているので積極的に参加する。
- 【地方公務員】 各自治体ホームページの採用情報に試験情報や仕事紹介が見られる。
また、自治体ごとに随時採用説明会も実施しているので、積極的に参加する。
自治体によって力を入れている政策などが異なるので、志望度の高い自治体には必ず参加。

民間企業との違い

民間企業の就職活動との違い

- 【準備】 公務員試験＝民間企業の就職試験に比べ、準備に時間のかかる就職試験。
民間企業の就職試験（筆記）に比べ、確実に学習すべき内容は多い＝お勉強の試験。
通常約１年、じっくりとやりたい人は約２年程度の学習期間を設けて合格を勝ち取っている。
※早く始めれば始めるほど、余裕を持って各講義の復習をすることができ、より確実な力をつけられる。
- 【公平】 公務員試験は、受験資格を満たしていれば誰でも受験可能な「公平な試験制度」。
合格者は１時試験と２次試験の合計点数のみで決定される。
会社説明会の予約が取れないから受験できないなどといったことは無い。

2. 公務員の試験制度

受験資格 有利不利のない公平な試験

一般枠の大卒程度試験 = 新卒者・既卒者・社会人の年齢要件等を満たした方を対象とした試験

Point ! 学歴・職歴・性別等による 有利不利やハンデは無く、公平な試験。

※一部試験では、年齢要件以外の受験資格がある場合があるので最新情報を確認！

試験制度 最新情報の確認が大切

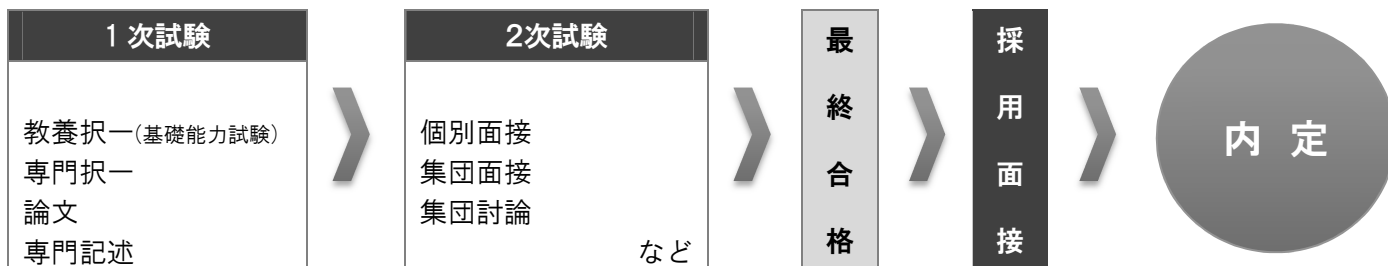
●2012年より、国家公務員試験は新試験制度での実施となります。 ※詳細はホームルームで！

●筆記試験の問題数削減・試験形式の変更などがある。

Point ! 最新情報は人事院や各自治体のホームページの採用情報などで必ず確認！

※TACは、試験に関する最新情報を担任講師がホームルームでご案内。

試験の流れ 一般的な公務員試験の流れ



公務員試験の日程

例：平成24年の1次試験日程

2012/3/15 現在

平成24年	4月29日(祝)	国家総合職
	5月4日(祝)	参議院総合職
	5月6日(日)	東京都I類B・特別区I類
	5月12日(土)	衆議院事務局一般職(大卒)
	5月20日(日)	国立大学法人等
	6月3日(日)	裁判所一般職(大卒)
	6月10日(日)	国税専門官・財務専門官【NEW】・労働基準監督官
	6月17日(日)	国家一般職(大卒)
	6月24日(日)	地方上級(道府県庁)・政令指定都市・市役所上級(A日程/大きい市役所)
	7月	市役所上級(B日程/中規模な市役所)
	9月	市役所上級(C日程/小さい市役所)

Point ! 1次試験の日程さえ重なっていなければ、併願受験が可能！

公務員試験＝就職試験なので、万が一のリスクが回避できるように併願受験をしましょう。

1 次 試 験 の 形 態

▲＝自治体により実施

試験種	国家一般職	国税	労基 A	裁判所	東京都	特別区	県庁	市役所
教養択一	●	●	●	●	●	●	●	●
専門択一	●	●	●	●	—	●	●	一部
論文	●	—	—	●	●	●	●	●
専門記述	—	●	●	●	●	—	▲	▲

P o i n t ! 教養択一・専門択一・論文の3つが課される試験種が多い。
併願受験できるように、教養択一・専門択一・論文に対応できる勉強を！

1 次 試 験 の 概 要

教養試験(五肢択一)

- 【一般知識科目】 中学・高校時代の学習範囲からの出題。
1科目あたりの出題数はそれほど多くないので、浅く広く苦手科目を無くす勉強が効果的。
各科目の学習範囲は膨大なため、過去の出題傾向に沿った効率的な学習が必要。
- 【一般知能科目】 数的処理 >> 数字のパズル・資料読解・算数／数学。
ヒラメキはありますか？センスはありますか？
どの試験でも出題数が多く、教養試験（基礎能力試験）の最重要科目。
- 文章理解 >> 現代文・古文・英文の要旨把握、文章の並び替え等。
文系の学生であれば、得点源にしておきたい科目。

P o i n t ! ●数的処理は確かに文系には辛いですが、人間が作った問題だから傾向・解法テクニックがある。
●時間を掛ければ誰でも解けるが、1問あたりにかけられる時間には限りがある。
＝予備校のテクニックが必要
●繰り返しの問題練習が結果に結びつく試験。

専門試験(五肢択一)

大学の専門課程レベルの内容からの出題。

科目ごとの出題数は多くはないが、勉強範囲が広いので独学で網羅するのは難しい。

自治体により各科目の出題数や出題傾向は異なるので、必ず学習する前に確認する。

P o i n t ! ●全ての科目を勉強する必要はなく、自分の志望先で出題される科目に絞って学習をすれば良い
●重要科目は、**憲法・民法・行政法・経済原論（ミクロ・マクロ）** ←出題数が多い
●科目ごとの勉強範囲は非常に広い。公務員受験対策予備校で学習範囲を絞って学習するべし
●大学でしっかりと勉強してあれば、少しは有利かな…というレベルの出題
⇒文学部・理系学部等で勉強したことがなくても大丈夫。**TACは知識ゼロを前提に講義実施**

択一試験のボーダーラインと配点比率

択一試験のボーダーラインは約 60～70%

決して満点を狙わなきゃいけない試験ではないので、各科目を最低限苦手ではないと言えるレベルに達する勉強をしていくことが大切。得意科目をつくる時間があるならば、その時間を使って苦手科目を 1 つでも減らすことに時間を使うべき。広く浅くの精神を忘れない。

配点比率を確認して万全の対策を！

配点比率は試験によって異なります。一部の公務員試験では配点比率が採用試験案内にて公表されている。

概ね、地方公務員＝人物試験重視 / 国家公務員＝学力重視の傾向にある。

とは言えど、1 次試験を突破しなければ 2 次試験の受験権利が得られない。

P o i n t !

- TACで学習して、誰でも取れる問題を確実に得点し、難問・奇問に固執して時間をロスしなければ大丈夫。
- 学力、人物のどちらを重視の試験でもTACなら対策は万全！

論文試験

- 与えられた課題に対し、800～1,000 字程度を 60～90 分程度でまとめる試験。
- 社会・経済問題など、一般的な課題について“自分の考え”を手書きで論述。レポートと論文の“違い”を理解して答案を作成することが重要。
- 論文上達のコツは、とにかく何回も手を動かして書いてみることに！そして第三者の目で見てもらい改善する！
- TAC の場合は、予想テーマを学ぶ講義と回数無制限の添削指導で徹底的に攻略。

専門記述試験

- 内容的には専門択一試験の論述版 ＝ 学習のベースは、専門択一で対応可能。
- 専門択一試験では測ることができない「論理展開の一貫性」が試される。
- 専門記述上達のコツは、論文同様に何回も手を動かして書き、第三者の目で見てもらい改善する！
- TAC の場合は、法律系・経済系・政治系に分けて講義で予想テーマを学び、回数無制限の添削指導で徹底攻略！

2 次 試 験 の 概 要

面接試験・集団討論

- 個別面接・集団面接・集団討論で人物試験が実施される。
- 主に志望動機・自己PR等の一般的な質問がされるが付け焼刃な受け答えでは対応ができない。
- 日頃から志望先の自治体研究・自己分析を進めておく必要がある。
- TAC の場合は、面接の基礎を学ぶ講義、回数無制限の模擬面接による個別指導、更に面接復元シートによる情報提供、回数無制限の面接カード添削で徹底的にフォロー。

3. TACの合格カリキュラム

本科生のご紹介 *パンフレット P52～

- ◎筆記試験から面接試験まで、必要な対策が全て入った**オールインワンコース**
- ◎科目の重要度やボリュームに合わせた、最適な回数・時間で編成された**効率的カリキュラム**
- ◎毎年大卒レベル試験を中心に、毎年多くの最終合格者＆上合格者を輩出している**安心の合格実績**

総合本科生	地方上級・国家一般職など、全国の行政事務職の試験に対応するスタンダードコース。
トリプル本科生	地方上級・国家一般職に加え、国税専門官試験にも対応するスペシャルコース。
2年/1.5年本科生	約1年半～2年かけて、「より確実に」合格レベルを目指す大学2年生用コース。

本科生の特典

TACの本科生には、お得な特典がたくさんついてきます！

論文・専門記述答案添削は、何回でもOK！	論述答案は、何回も書いて第三者の目で添削してもらうことでレベルアップが図れる。本科生ならば、追加料金なしで何度でも添削！何回も添削を受けて万全の対策を！
模擬面接は、何回でもOK！	担任講師 or TACの人事経験者等と何回も模擬面接をして面接の雰囲気になれる。追加料金なしで、納得いくまで何回も模擬面接を受けて万全の対策を！
公開模試は、受験料無料！	TACは、全国規模で実施される公開模試受験料が本科生の受講料に含まれている。追加料金無しで公開模試をご受験いただけます。

など

おすすめの受講スタイル *パンフレット P39

通学＋通信スタイルが人気＆おすすめです！

教室講座＋Web フォロー 	教室で講義を受け、さらに Web でも講義が受けられる極めて自由度の高い、近年人気上昇中の受講スタイルです。ご自身のスケジュールに合わせて、教室に出席するか Web で受講するかを決められますので受講方法はまさに思いのままです。	【活用例】大学の講義の空き時間に講義を受講！ 今日2限と4限で講義。3限の時間どうしよう… ⇒大学のPCルームでTACの講義を受講！
		【活用例】家で復習している時にもう1回受講！ この論点だけ、今すぐにもう1回講義が見たい… ⇒いつでも何度でも好きな時にWebで受講OK！

など

安心のフォロー制度（通学） *パンフレット P40

TACは、受験生活をバックアップする各種フォロー制度をご用意！学習を継続するための大切なツールです。

欠席・復習時のフォロー制度	
校舎間振替受講制度	日程表に出ている講義日程なら、登録校舎・クラスにかかわらず出席してOK！
DVDフォロー	欠席した講義をTACのDVDブースで見ることが可能です！（有料：500円/1回）
講義音声DLフォロー（無料）	講義音声と板書・講義レジュメをダウンロード可能。通学本科生には標準装備！
Webフォロー（有料）	Web動画で講義を受講可能！倍速機能などもついており、現在人気急上昇中！
質問制度	
質問コーナー	講義の時間以外に、科目ごとに質問コーナー実施！質問に講師が個別にお答えします！
質問メール	通信講座生限定で、ご利用いただけます。
質問カード・FAX	担当講師が直接お答えします。

など

担任講師制度 ～頼れる人がそばにいる！～ *パンフレット P20～

教室講座開講校舎には「担任講師」が在籍。ホームルーム・担任カウンセリング・面接対策等を行い、受験生ひとりひとりを大切に、きめ細かい個別指導・最新情報を提供！

ホームルーム (HR)	時期に応じて、最新の試験情報や各科目の学習方法などを中心にお話するホームルームを、講義前の 30 分などを利用して適宜実施。
担任カウンセリング	受講生から提出してもらう個別カウンセリングシートを元に、担任講師が個別学習相談を実施。学習上の相談はもちろん、進路相談や精神面まで丁寧にひとりひとりに対応。

面接対策 ～圧倒的な情報量&徹底的な個別指導～ *パンフレット P32

圧倒的な情報量と丁寧な個別指導で、面接試験の対策も万全！

講義で基本をマスターし、繰り返しの模擬面接、面接復元シートによる情報提供で最終合格を確実なものにしていきます。

面接対策講義	まずは講義で、面接の基本的なルール＆マナー・自己分析の方法・志望動機の組み立て方・面接カードの記入方法などをレクチャー。
模擬面接(回数無制限)	担任講師による模擬面接はもちろん、TACの人事担当者や受験アドバイザーによる模擬面接で、様々な質問に対する対応方法を磨き上げていきます。質問事項は、TACに蓄積された各試験の面接情報を元としており、本番の疑似体験が可能です。
面接復元シート自由閲覧	本試験を受験したTAC受講生から生の情報を集めた「面接復元シート」。面接時の質問内容&実際にどのように回答したか・面接の時間・雰囲気等、他では絶対に手に入らない試験情報を、自由に閲覧することができます。

体験入学実施中！ *パンフレット巻末

3回連続無料体験入学のご案内

TAC ではお申込前に講義を無料で受講することができます。体験入学は 3 回連続出席 OK！！

じっくりと TAC のコンテンツを確かめてください。



★参加者特典★

- ・Vテキスト
- ・担当講師オリジナルレジュメ

